



ひまわり通信

日本共産党控室
市川市八幡1-1-1
334-1111 (18220)

日本共産党
市川市会議員

ひろた徳子



2023. 7 N092

6月議会一般質問

6月19日、私は4つの大項目について一般質問を行いました。

教育センターと市立学校との連携について

市は、「どちらの相談も保護者からの依頼や承諾のもと学校と連携し、校長、教頭、担任等と情報交換や協議を行い、その上で子どもの支援方法について共通理解を図り、相談、支援を行っております」と答弁しました。しかし現実には、外国籍で日本語が理解できない保護者や児童生徒に対して一部支援が途切れてしまっていることもあります。



○教育行政について

- (1) 教育センターと市立学校との連携について
- (2) 特別支援学級の今後の設置計画について
- (3) 特別支援教育就学奨励制度について
- (4) 市立小学校6年生に対するアンケート「全国学力・学習状況調査」の結果の活用について

○高齢者支援について

- (1) 本市の高齢者クラブ数と会員数について
- (2) 高齢者クラブへの補助金の支給対象について
- (3) 高齢者の居場所づくりについて

○市政をより市民に身近に感じてもらえる施策について

- (1) 広報いちかわを全戸配布することについて
- (2) 郵便料のうち市民へ送付するものの割合はどのくらいか
- (3) 名古屋市で実施している「通達員」の取り組みを本市においても採用する考えについて

○保育行政について（関係者）

- (1) 本市の待機児童減少に伴い今後の保育園の整備計画をどのように考えるのか
- (2) 保育料第2子以降無償化に伴う影響について
- (3) 3歳以上児の副食費の徴収について
- (4) 本市における株式会社の保育園の運営について

特別支援学級について

すべての学校に特別支援学級が設置されていないことで、学区外から通わなければならない児童生徒が多くいます。教育はだれでも平等に受ける権利があります。

市は、「今後については、設置希望調査の結果や障がい種や地域のバランスなどを配慮して、早急に特別支援学級の設置を進めていく」と答弁しました。

保育行政について

今議会でも補正予算が計上され、保育料第2子以降無償化になることで、子どもを預けて働きたいと言う保護者もいます。近年の育児休職の定着に伴い、ゼロ歳児の定員や保育士を減らしている保育園が少なくない状況で、入園希望が今より多くなった場合、公立保育園での受け入れが可能か質問しました。

市は、「状況に応じて、公立保育園での受入れ体制を整え、対応してまいります」と答弁しましたが、公立保育園でも、20園で156人定員のところ、55人しか預かることのできない保育士数の体制となっています。無償になったことで預けようとしても、保育士がいなかったために待機児童が増える可能性があり、保育士確保が課題となります。

広報いちかわについて

広く市民に知らせるつもりですが、市内25万世帯に対して、印刷部数は10万8千部という事です。確かにウェブサイトや新聞を購読していない世帯に直接郵送もしていますが、すべてに届いてはいません。

今回の質問では、なかなか前進するところまでは行きませんでした。今後に向けて注視していく内容や、改めて要望していく内容も含まれています。引き続き、頑張ります。

国保税の値上げをストップさせよう！

講師 千葉県社会福祉協議会
事務局長 藤田 まつ子氏

「国保を知らう」
学習会を行ないます。
日・時 7月17日(祝)月曜日
午後2時～4時
場所 市川市文化会館
第5会議室

市川市は、8年間据え置いてきた国民健康保険税を来年度から値上げする条例案を9月議会に出す予定です。さらに2026年度も値上げの方針を出しています。食料品、下水道代、電気代が値上がり中、これ以上の値上げはしないでほしいと、多くの市民から声があります。「国保をよくする会」は、この間2回、市川駅、行徳駅で署名行動を行ないました。

アンケート中間報告

行徳地域のみなさんから、毎日回答が寄せられています。QRコードでの回答は、年齢幅もたいへん広く、様々な要望を寄せていただいています。今回の特徴は、国保税の値上げやマイナンバーカードに保険証を紐づけることへの反対意見が多いことです。

その他の要望

- 環境問題
- ・ごみ出しのマナー
- ・ムクドリ・ハトの糞被害
- ・紙おむつを公共施設で捨てられるようにしてほしい
- 道路・歩道関連
- ・車道の両脇が低くなっているので車が通ると



6月24日行徳駅での署名宣伝
16人の参加で30筆



- 水はねが起きる
 - ・カーブミラーを付けてほしい
 - ・道路と歩道の段差が大きくて危ない
 - ・横断歩道や止まれなどの白線が消えている
 - 福祉・教育関連
 - ・保育士不足解消
 - ・児童手当の充実
 - ・車椅子でも安心して出かけられる街に
 - ・安く入れる高齢者施設を
 - ・障がいのある子も安心して暮らせる街に
- これらの要望は現地を見て、地域ごとに要望書を作り、市川市に提出します。また、議会でも取り上げ、早期解決に向けて頑張ります。手元に用紙がある方は、まだ間に合います。

無料法律相談

次回8月8日(火)午後2時より
次々回9月12日(火)午後2時より
市役所 6F 共産党控室にて

1人30分、事前予約が必要です。
334-1111 内線18219
までお電話ください。

ひまわり通信
8月号は休みます。

ひとりごと：「アメリカ言いなり」、「9条改憲」を進める政権では国民の命と生活は守れません。私が11歳の時沖縄が返還されました。「これでアメリカと日本は平等になった」と先生から説明があり、素直に良かったと思いましたが。しかし今の九州南部、奄美大島から沖縄本島、宮古島・石垣島へ繋がる自衛隊基地の配備は恐ろしく、まさしく準備をしているとしか思えません。弾薬庫まで作って。「二度と戦争はしない」忘れてしまったのだろうか。これから市川でも行徳でも平和行進が行われます。唯一の被爆国で、今なお苦しむ人がいる日本は、今後をどう考えるのか。8月15日は、最後の終戦記念日にしなくてはならない。毎年平和を願い8月の誕生日を迎えています。